

～先生のおすすめ本～

田中 明子校長先生

『君と会えたから』  
喜多川 泰/作  
ディスカヴァー・トゥエンティワン

いつも側に置いて、何度でも読み返したくなるような言葉がたくさん溢れています。

未来の自分のために、大切なあの人のために、今をどう生きるかを考え、勇気を与えてくれる本です。

近藤 先生

『心を整える』  
長谷部 誠/作  
(元サッカー日本代表キャプテン)  
幻冬舎(幻冬舎文庫)

長谷部選手がこれまで習慣としてきたこと、意識してきたことをまとめた本です。

いろいろうまくいかないなあと感じたときに、自分自身と向き合うきっかけとして読んでみてください。

山田 先生

『世界から猫がきたなら』  
川村 元気/著  
小学館(小学館文庫)

猫と二人暮らしをしている30歳の主人公に脳腫瘍が見つかり、わずかな余命が宣告される。

ある日家に帰ると悪魔がいて、「世界から1つものを失くす代わりに、あなたの寿命を1日延ばしてあげます。」と言われた。

1つまた1つ世界から様々なものが消えていく。大切なものは失って初めて気付くと考えさせられる作品。

田中 由美先生

『生きるぼくら』  
原田 マハ/著  
徳間書店(徳間文庫)

最近、原田マハさんにハマっています。

この本は、引きこもりになった主人公が苦難と挫折の淵から立ち上がろうとする、人間再生ドラマです。

人々との出会いによって癒され再び活力がみなぎっていく、ちょっと元気になる小説です。

山本 先生

『月のきほん』  
白尾 元理/著  
誠文堂新光社

月に関するいろいろなことが書いてあります。月にまつわる物語や暦の話など身近なことも書かれていて楽しく読めます。

原添 先生

『かぎりなくやさしい花々』  
星野 富弘/著  
偕成社

詩と花の絵をとおして命のすばらしさを語りつづる感動の記録です。

「鈴の鳴る道」など生きる力をあたえてくれます。